

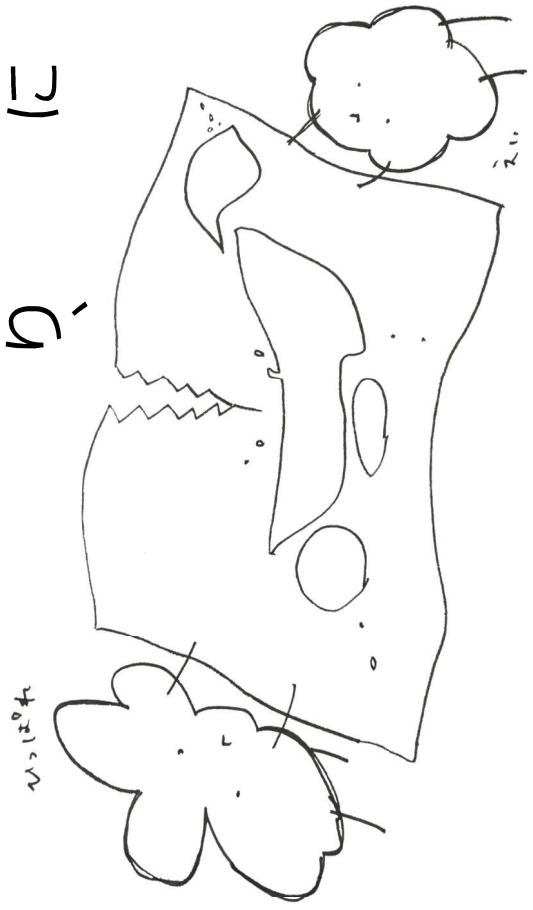
ウイルスがもたらす

第3の“感染症”は 嫌悪・偏見・差別です



不安や恐れは人間の**生き延びようとする本能**を刺激します。

そして、ウイルス感染にかかわる人や対象を日常生活から遠ざけたり、差別するなど、人と人との信頼関係や社会のつながりが壊されてしまいます。



なぜ、嫌悪・偏見・差別 が生まれるのか

見えない敵（ウイルス）
への**不安**

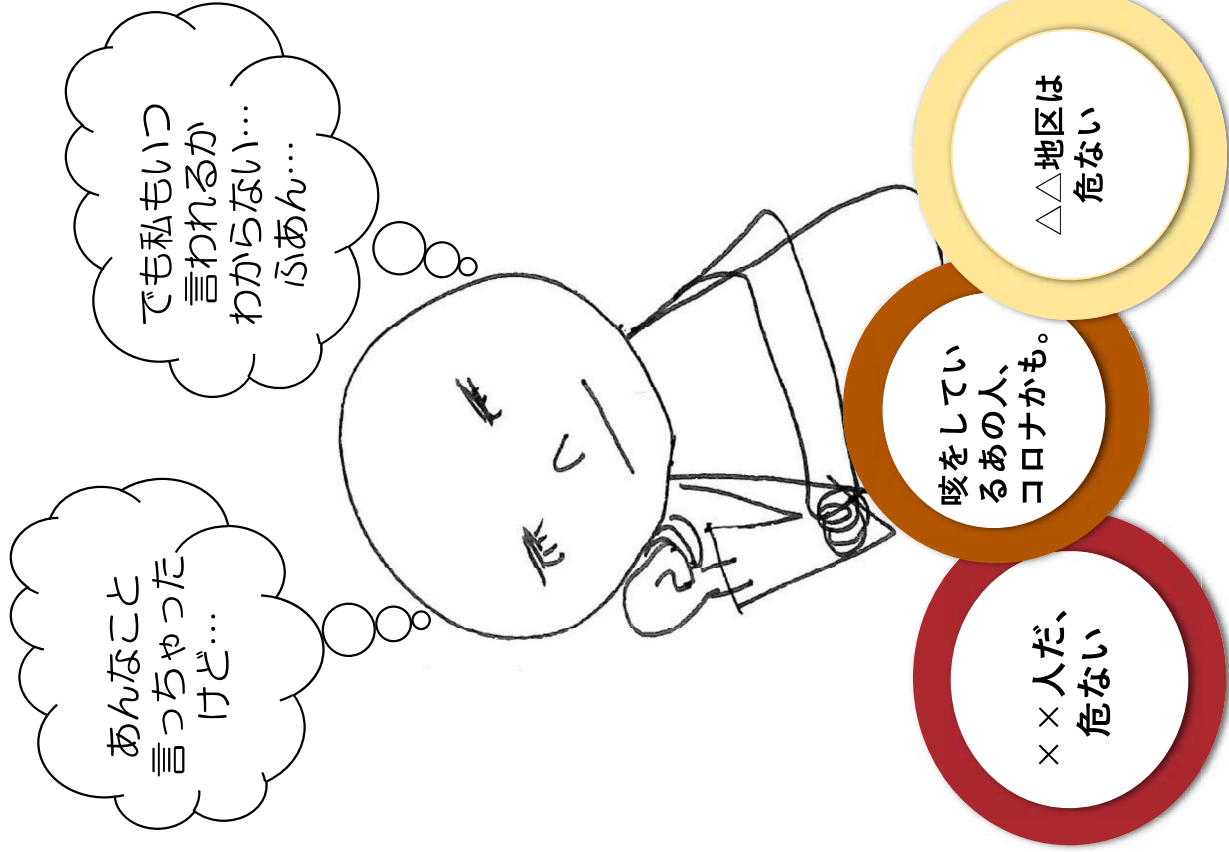
敵はウイルス

特定の対象を見える敵と
見なして**嫌悪**の対象とする

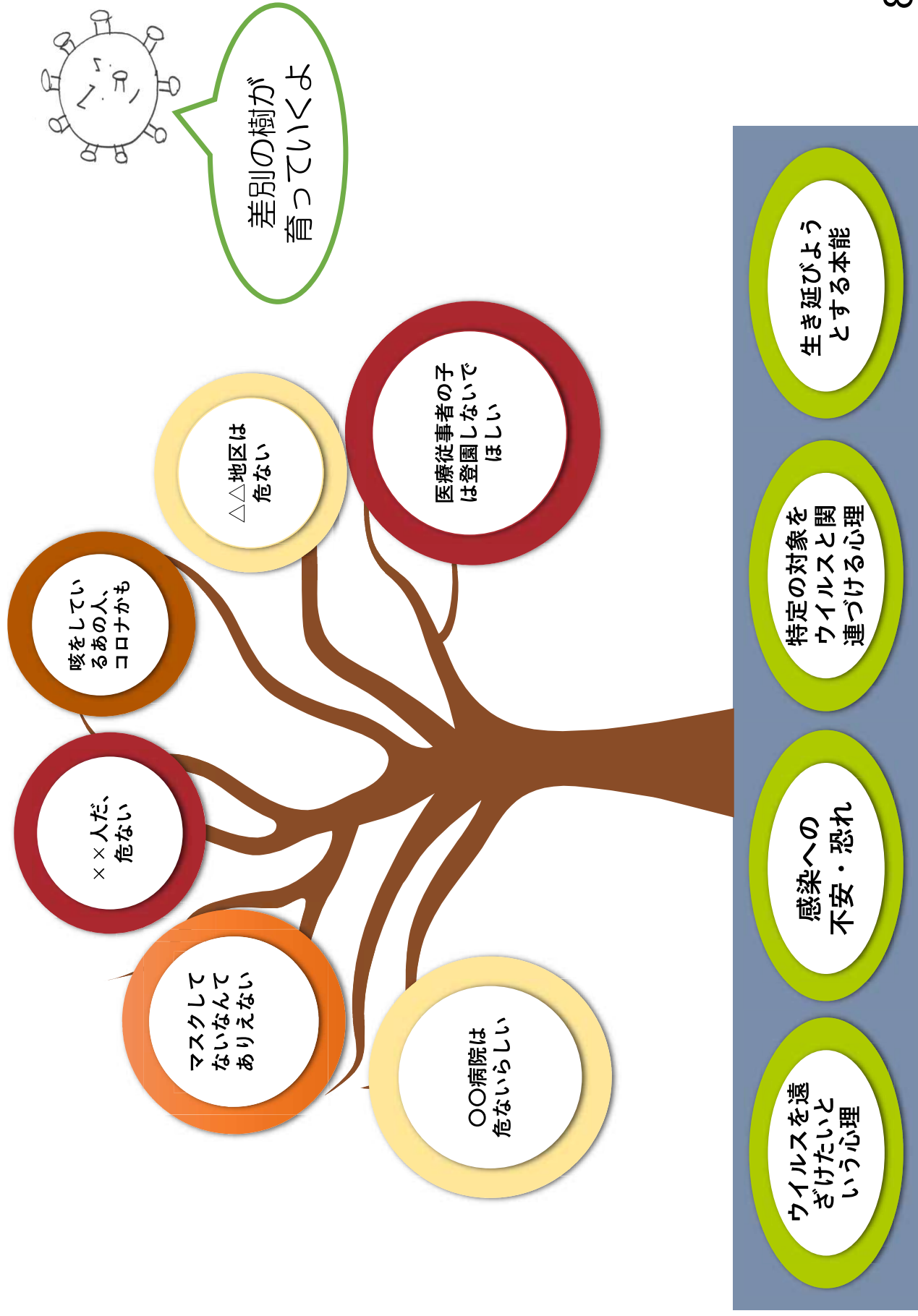
敵がすり替
わってしまっ

嫌悪の対象を**偏見・差別**
遠ざけることでつかの間の
安心感が得られる

本当の敵を
見なくなる



特定の人・地域・職業などに対して
「危険」「ばい菌」といったレッテルを
貼る心理によって差別や偏見はおこります。

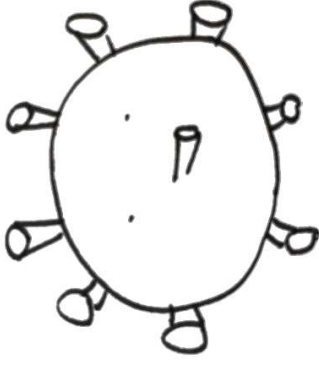


3つの“感染症”は

どうつながっているの？

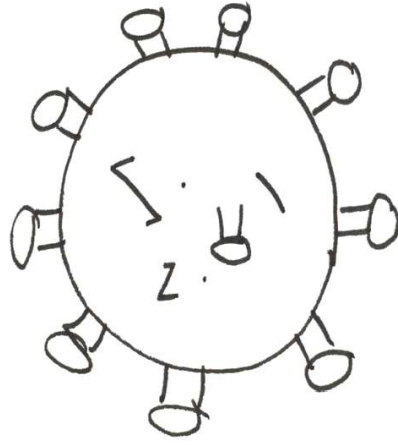
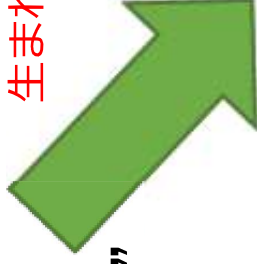
負のスパイラルで“感染症”が拡がる

③差別を受けるのが怖くて熱や咳があっても受診をためらい、結果として病気の拡散を招く



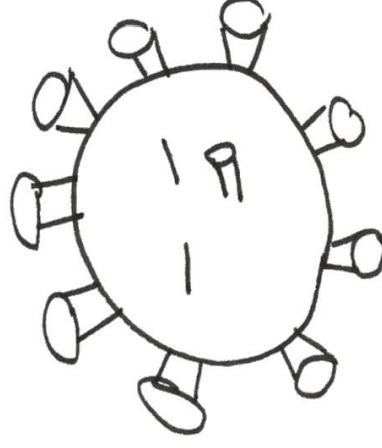
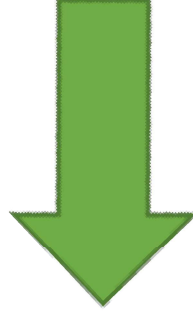
第1の“感染症”
「病気」

①未知なウイルスでわからないことが多いため不安が生まれる



第3の“感染症”
「差別」

②人間の生き延びようとする本能によりウイルス感染にかかわる人を遠ざける



第2の“感染症”
「不安」

この“感染症”の怖さは、病気が不安を呼び、不安が差別を生み、差別が更なる病気の拡散につながる事です。

皆さんも、

ウイルスに関する悪い情報ばかりに目が向いていたり、なにかとウイルスに結び付けて考えたりしていませんか？

「あの人咳してる・・・コロナなんじゃない」

「あの地域はコロナが流行っているからあんなものを貰うのはやめよわ・・・」

「熱があるけど怖いから黙っているよわ・・・」

このように思い、行動するようになって
“感染症”は広がっているかも。

これらの“感染症”をふせぐために、
私たちはどのようになる工夫ができる
でしょうか？

